

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
国語	基礎国語①	前期2単位	6	6	3

◇科目の目標

文章読解のための基礎的事柄を確認しつつ、正確に読解する力をつける。さらに、自分の考えをまとめ表現する力をつける。

◇科目の概要

国語の基礎的事柄を学習し、「現代の国語」「言語文化」の学習につなげる橋渡しの科目です。

◇学習の進め方

辞書と便覧を手元に置き、レポートの問題に一つ一つ丁寧に取り組んでいきます。教科書の代わりに、学習資料を使いながら学習を進めていきます。

◇履修にあたっての留意点

本文を声に出して読む、わからない点をはっきりさせるようにチェックを入れるなど、予習をしてきてください。漢字や意味がわからない語句があれば、すぐに辞書で調べるようにしましょう。

◇使用教科書・副教材 学習資料・新国語便覧（第一学習社）

◇スクーリング計画

回数	開講月日	授業内容	学習資料ページ
1	4月26日・27日	漢字の学習 ことわざ・故事成語の学習	P1
2	5月10日・11日	口語文法の学習 品詞の学習	P2～6
3	5月24日・25日	現代文の学習①（評論文） 慣用句の学習	P7～8
4	6月21日・22日	古文の学習 漢文の学習	P9～11
5	6月28日・29日	敬語の学習 原稿用紙の使い方	P11～13
6	7月19日・20日	現代文の学習②（随想）	P14～18

◇テスト範囲

中間	レポート1/6～3/6の範囲でテストを実施します。 詳細は「筑摩」で連絡します。	期末	レポート4/6～6/6の範囲でテストを実施します。 詳細は「筑摩」で連絡します。
----	---	----	---

◇成績評価の方法

成績はレポートの評価、テスト、面接出席状況等から総合的に評価します。
観点別評価の「知識・技能」は主としてテストによる学習の定着度から評価します。よく学習しているものはA、合格の基準を超えたものはB、不合格のものはCとします。
「思考・判断・表現」は6通のレポートの取り組みを総合して評価します。レポートの表現課題までしっかりと取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、不合格のものはCとします。
「主体的に学習に取り組む態度」はスクーリングへの出席状況と学習態度を合わせて評価します。出席状況がよく、積極的に学習に取り組んだものにはA、合格基準を超えたものはB、合格基準に満たなかったものはCとします。

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
国語	基礎国語②	後期2単位	6	6	3

◇科目の目標

文章読解のための基礎的事柄を確認しつつ、正確に読解する力をつけます。また、国語の知識や技能を学びながら、自分の考えや思いを表現する力をつけます。

◇科目の概要

国語の基礎的事柄を学習し、「現代の国語」「言語文化」の学習につなげる橋渡しの科目です。

◇学習の進め方

必ず、辞書と便覧を手元に置き、レポートの問題に一つ一つ丁寧に取り組んでいきましょう。教科書の代わりに、学習資料を使いながら学習を進めます。

◇履修にあたっての留意点

本文を声に出して読み、わからない点をはっきりさせるように予習しましょう。意味のわからない語句や漢字はすぐに調べる習慣を身につけましょう。

◇使用教科書・副教材 学習資料・新国語便覧（第一学習社）

◇スクーリング計画

回数	開講月日	授業内容	学習資料ページ
1	10月19日・20日	言葉の学習・漢字の学習 慣用句の学習	P1～3
2	11月1日・2日	口語文法の学習（言葉の単位・文節の関係・品詞・接続）	P3～8
3	11月8日・9日	現代文の学習①（小説） ことわざ・故事成語の学習	P9～11
4	12月6日・7日	古文の学習 漢文の学習	P12～16
5	12月13日・14日	敬語の学習 手紙の書き方	P17～20
6	12月27日・28日	現代文の学習②（随想）	P21～26

◇テスト範囲

中間	レポート1/6～3/6の範囲でテストを実施します。 詳細は「筑摩」で連絡します。	期末	レポート4/6～6/6の範囲でテストを実施します。 詳細は「筑摩」で連絡します。
----	---	----	---

◇成績評価の方法

成績はテスト、レポート、面接出席状況等から総合的に評価します。
観点別評価の「知識・技能」は主としてテストによる学習の定着度から評価します。よく学習しているものはA、合格の基準を超えたものはB、不合格の時はCとします。
「思考・判断・表現」は6通のレポートの取り組みを総合して評価します。レポートの表現課題まですべてをしっかりと取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、不合格の時はCとします。
「主体的に学習に取り組む態度」はスクーリングの出席状況と学習態度を合わせて評価します。出席状況がよく、積極的に学習に取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、合格基準を超えない時はCとします。

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
国語	現代の国語	前期2単位	6	6	3

◇科目の目標

国語で的確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する。実社会に必要な国語の知識や技能を学ぶとともに、論理的思考能力や想像力を育み、言葉を通して社会に関わる態度を養う。

◇科目の概要

現代を代表する様々な著者の文章を読み、語彙力と読解力を高める。また、自分の考えや思いを他人に伝える文章力と表現力を身につける。

◇学習の進め方

教科書を熟読し、レポートに取り組む。疑問点はスクーリング等を活用して、積極的に質問する。

◇履修にあたっての留意点

個々の作品に興味を持ち、内容を理解できるように努めること。

◇使用教科書・副教材 『新編現代の国語』（東京書籍）・『カラー版 新国語便覧』（第一学習社）

◇スクーリング計画

回数	開 講 月 日	授 業 内 容	教科書ページ
1	4月26日・27日	『こそそめスープ(村田沙耶香)』 便覧「言葉の学習①(同音異義語・同訓異字語)」	6～11
2	5月10日・11日	『水の東西(山崎正和)』 「評論の読み方」 便覧「言葉の学習②(四字熟語の読みと意味)」	33～38 39～42
3	5月24日・25日	『無彩の色(港千尋)』 「分かりやすい説明をしよう」 便覧「言葉の学習③(対義語)」	78～86 50～55
4	6月21日・22日	『鍋洗いの日々(村上信夫)』 便覧「言葉の学習④(慣用句)」	100～105
5	6月28日・29日	『りんごのほっぺ(渡辺美佐子)』 便覧「言葉の学習⑤(日本のことわざ)」	160～168
6	7月12日・13日	『真の自立とは(鷲田清一)』 「言葉の選び方」 便覧「言葉の学習⑥(敬語の使い方)」	193～120 148～150

◇テスト範囲

中間	レポート 1/6～3/6 詳細は『筑摩』にて連絡。	期末	レポート 4/6～6/6 詳細は『筑摩』にて連絡。
----	------------------------------	----	------------------------------

◇成績評価の方法

成績はテスト、レポート、面接出席状況等から総合的に評価する。

観点別評価の「知識・技能」は、主としてテストによる学習の定着度から評価する。よく学習しているものはA、合格の基準を超えたものはB、不合格の時はCとする。

「思考・判断・表現」は、6通のレポートの取り組みを総合して評価する。レポートの課題まで全てをしっかりと取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、不合格の時はCとする。

「主体的に学習に取り組む態度」はスクーリングの出席状況と学習態度を合わせて評価する。出席状況がよく積極的に学習に取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、合格基準を超えない時はCとする。

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
国語	言語文化	後期2単位	6	6	3

◇科目の目標

日本人として大切にしてきた言語文化を積極的に享受して、社会や自分との関わりの中でそれらを生かしていく態度を育てる。

◇科目の概要

古文・漢文・近現代の小説の名作を読み、言語文化の教養を高め、そこから自己の思想を表現し、生き方に反映させる。

◇学習の進め方

教科書を熟読し、レポートに取り組む。疑問点はスクーリング等を活用して、積極的に質問する。

◇履修にあたっての留意点

教科書の各作品をしっかりと読む。基礎的な一般教養知識は覚えること。

◇使用教科書・副教材 『新編言語文化』（東京書籍）・『カラー版 新国語便覧』（第一学習社）

◇スクーリング計画

回数	開 講 月 日	授 業 内 容	教科書ページ
1	10月19日・20日	古文 「古文の言葉と仮名遣い」・「単語の分類」 『宇治拾遺物語（児のそら寝）』	130～131 136 128～129
2	11月1日・2日	古文 『徒然草（奥山に、猫またといふものありて）』 『伊勢物語（芥川）』	148～149 178～179
3	11月8日・9日	漢文 「訓読の基本」 「格言」	218～219 220～223
4	12月6日・7日	漢文 「漢詩の形式と決まり」・「贈汪倫」・「春望」 『論語（学ぶということ）』	244 238～241 246～247
5	12月13日・14日	現代文 『デューク（江國香織）』 『とんかつ（三浦哲郎）』	111～120 24～35
6	12月27日・28日	現代文 『羅生門（芥川龍之介）』	75～96

◇テスト範囲

中間	レポート 1/6～3/6 詳細は『筑摩』にて連絡。	期末	レポート 4/6～6/6 詳細は『筑摩』にて連絡。
----	------------------------------	----	------------------------------

◇成績評価の方法

成績はテスト、レポート、面接出席状況等から総合的に評価する。

観点別評価の「知識・技能」は、主としてテストによる学習の定着度から評価する。よく学習しているものはA、合格の基準を超えたものはB、不合格の時はCとする。

「思考・判断・表現」は、6通のレポートの取り組みを総合して評価する。レポートの課題まで全てをしっかりと取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、不合格の時はCとする。

「主体的に学習に取り組む態度」はスクーリングの出席状況と学習態度を合わせて評価する。出席状況がよく積極的に学習に取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、合格基準を超えない時はCとする。

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
国語	文学国語①	前期2単位	6	6	3

◇科目の目標

生涯にわたって社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに我が国の言語文化に対する理解を深める。また、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養う。さらに、文学国語の学習を通じて、読書に親しみ、他者や社会に関わっていく姿勢を身につける。

◇科目の概要

古典も含めた文学作品を鑑賞し、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わう。また、楽しみながら文学作品を創作し、表現する。

◇学習の進め方

作者がどんなことを伝えようとしているのかを考えながら読むことを心がけてください。また、辞書を活用し、わからない語句は調べながら読解しましょう。

◇履修にあたっての留意点

いろいろなことに対してなぜなのかと考えたり、知らない事柄や言葉を調べたりすることも大切な学習です。各自の自主的・積極的な取り組みを望みます。

◇スクーリング計画

回数	開 講 月 日	授 業 内 容	教科書 ページ
1	5月3・4日	文学的な文章とは？ 「そとみとなかみ」	p. 10～ p. 27～
2	5月10・11日	「晴れた空の下で」 「道程」	p. 56～ p. 76～
3	5月24・25日	「児の飴食ひたること」 「行く河の流れ」	p. 72～ p. 178～
4	6月28・29日	「さくら日和」	p. 184～
5	7月5・6日	「山月記」	p. 90～
6	7月19・20日	「待合室」	p. 230～

◇テスト範囲

中間	レポート①②③	期末	レポート④⑤⑥
----	---------	----	---------

◇成績評価の方法

成績はレポートの評価、テスト、面接出席状況等から総合的に評価します。観点別評価の「知識・技能」は主としてテストによる学習の定着度から評価します。よく学習しているものはA、合格の基準を超えたものはB、不合格のものはCとします。「思考・判断・表現」は6通のレポートの取り組みを総合して評価します。しっかりと取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、不合格のものはCとします。「主体的に学習に取り組む態度」はスクーリングへの出席状況と学習態度を合わせて評価します。出席状況がよく、積極的に学習に取り組んだものにはA、合格基準を超えたものはB、合格基準に満たなかったものはCとします。

◇使用教科書・副教材 新編文学国語（大修館書店）、新国語便覧（第一学習社）

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
国語	文学国語②	後期2単位	6	6	3

◇科目の目標

生涯にわたって社会生活に必要なとなる国語の知識や技能を身に付けるとともに我が国の言語文化に対する理解を深める。また、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養う。さらに、文学国語の学習を通じて、読書に親しみ、他者や社会に関わっていく姿勢を身につける。

◇科目の概要

古典も含めた文学作品を鑑賞し、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わう。また、楽しみながら文学作品を創作し、表現する。

◇学習の進め方

作者がどんなことを伝えようとしているのかを考えながら読むことを心がけてください。また、辞書を活用し、わからない語句は調べながら読解しましょう。

◇履修にあたっての留意点

いろいろなことに対してなぜなのかと考えたり、知らない事柄や言葉を調べたりすることも大切な学習です。各自の自主的・積極的な取り組みを望みます。

◇スクーリング計画

回数	開 講 月 日	授 業 内 容	教科書 ページ
1	10月19・20日	「少なくとも最後まで歩かなかった」	p. 18～
2	10月25・26日	「ナイン」	p. 40～
3	11月8・9日	「かぐや姫の昇天」 一言で心をつかもう	p. 114～ p. 34～
4	12月6・7日	「飛ぶことを知っている魂」 「クルミの小部屋」	p. 218～ p. 223～
5	12月13・14日	「短歌」「俳句」 川柳を作ろう	p. 282～ p. 290～
6	1月10・11日	「山椒魚」	p. 296～

◇テスト範囲

中間	レポート①②③	期末	レポート④⑤⑥
----	---------	----	---------

◇成績評価の方法

成績はレポートの評価、テスト、面接出席状況等から総合的に評価します。観点別評価の「知識・技能」は主としてテストによる学習の定着度から評価します。よく学習しているものはA、合格の基準を超えたものはB、不合格のものはCとします。「思考・判断・表現」は6通のレポートの取り組みを総合して評価します。しっかりと取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、不合格のものはCとします。「主体的に学習に取り組む態度」はスクーリングへの出席状況と学習態度を合わせて評価します。出席状況がよく、積極的に学習に取り組んだものにはA、合格基準を超えたものはB、合格基準に満たなかったものはCとします。

◇使用教科書・副教材 新編文学国語（大修館書店）、新国語便覧（第一学習社）

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
国語	論理国語①	前期2単位	6	6	3

◇科目の目標

言語活動を通して論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、自分の思いや考えを広げ深められるようにする。言葉がもつ価値への認識を深め、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わる姿勢を養う。また、実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。

◇科目の概要

様々なテーマについて論理的に書かれた文章を読みながら、論理的な思考力を鍛えつつ、世界や社会に目を向け、様々な問題に対しての自分の見識を広げ深める。表現の工夫を知るとともに自分の考えをよりよく伝える方法を学び表現する。読書の意義について理解を深めたい。

◇学習の進め方

筆者が意見をどのように工夫し伝えようとしているのかを考えながら読むことを心がけてください。また、辞書を活用し、わからない語句は調べながら読解しましょう。

◇履修にあたっての留意点

いろいろなことに対してなぜなのかと考えたり、知らない事柄や言葉を調べたりすることも大切な学習です。各自の自主的・積極的な取り組みを望みます。

◇スクーリング計画

回数	開 講 月 日	授 業 内 容	教科書 ページ
1	4月26・27日	「世界をつくり替えるために」	p. 15～
2	5月10・11日	「ラップトップを抱えた『石器人』」	p. 66～
3	5月24・25日	「複数の『わたし』」	p. 114～
4	6月21・22日	「カフェの開店準備」	p. 193～
5	7月5・6日	「鏡としてのアンドロイド」	p. 210～
6	7月19・20日	「知識における作者性と構造的性」	p. 262～

◇テスト範囲

中間	レポート①②③	期末	レポート④⑤⑥
----	---------	----	---------

◇成績評価の方法

成績はレポートの評価、テスト、面接出席状況等から総合的に評価します。観点別評価の「知識・技能」は主としてテストによる学習の定着度から評価します。よく学習しているものはA、合格の基準を超えたものはB、不合格のものはCとします。「思考・判断・表現」は6通のレポートの取り組みを総合して評価します。しっかりと取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、不合格のものはCとします。「主体的に学習に取り組む態度」はスクーリングへの出席状況と学習態度を合わせて評価します。出席状況がよく、積極的に学習に取り組んだものにはA、合格基準を超えたものはC、合格基準に満たなかったものはCとします。

◇使用教科書・副教材 新編論理国語（東京書籍）、新国語便覧（第一学習社）

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
国語	論理国語②	後期2単位	6	6	3

◇科目の目標

言語活動を通して論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、自分の思いや考えを広げ深められるようにする。言葉がもつ価値への認識を深め、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わる姿勢を養う。また、実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。

◇科目の概要

様々なテーマについて論理的に書かれた文章を読みながら、論理的な思考力を鍛えつつ、世界や社会に目を向け、様々な問題に対しての自分の見識を広げ深める。表現の工夫を知るとともに自分の考えをよりよく伝える方法を学び表現する。読書の意義について理解を深める。

◇学習の進め方

筆者が意見をどのように工夫し伝えようとしているのかを考えながら読むことを心がけてください。また、辞書を活用し、わからない語句は調べながら読解しましょう。

◇履修にあたっての留意点

いろいろなことに対してなぜなのかと考えたり、知らない事柄や言葉を調べたりすることも大切な学習です。各自の自主的・積極的な取り組みを望みます。

◇スクーリング計画

回数	開 講 月 日	授 業 内 容	教科書 ページ
1	10月19・20日	『ふしぎ』ということ 慣用句の意味	p. 37～ p. 44～
2	10月25・26日	「安心について」	p. 83～
3	11月1・2日	「楽に働くこと、楽しく働くこと」 要約する力	p. 132～ p. 158～
4	12月13・14日	「最初のペンギン」	p. 168～
5	12月20・21日	「言葉は『ものの名前』ではない」 「科学的『発見』とは」	p. 232～ p. 240～
6	12月27・28日	「未来のありか」	p. 291～

◇テスト範囲

中間	レポート①②③	期末	レポート④⑤⑥
----	---------	----	---------

◇成績評価の方法

成績はレポートの評価、テスト、面接出席状況等から総合的に評価します。観点別評価の「知識・技能」は主としてテストによる学習の定着度から評価します。よく学習しているものはA、合格の基準を超えたものはB、不合格のものはCとします。「思考・判断・表現」は6通のレポートの取り組みを総合して評価します。しっかりと取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、不合格のものはCとします。「主体的に学習に取り組む態度」はスクーリングへの出席状況と学習態度を合わせて評価します。出席状況がよく、積極的に学習に取り組んだものにはA、合格基準を超えたものはB、合格基準に満たなかったものはCとします。

◇使用教科書・副教材 新編論理国語（東京書籍）、新国語便覧（第一学習社）

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
国語	国語表現①	前期2単位	6	6	3

◇科目の目標

国語で適切に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし言語感覚を磨き、進んで表現することによって社会生活を充実させる態度を育てる。

◇科目の概要

文の書き方の基本的なルールを学び、そこからマイニュース記事、自己PR文等、様々な文章を書くことにより、自己の思想を表現する。

◇学習の進め方

教科書を熟読し、レポートに取り組む。疑問点はスクーリング等を活用して、積極的に質問する。

◇履修にあたっての留意点

自分の言葉で、自分の文章をしっかりと丁寧に書くこと。

◇使用教科書・副教材 『国語表現』（大修館）・『カラー版 新国語便覧』（第一学習社）

◇スクーリング計画

回数	開 講 月 日	授 業 内 容	教科書ページ
1	4月26日・27日	「言葉と表記」	12～15
2	5月10日・11日	「整った文を書く」	16～17
3	5月17日・18日	「絵や写真を見て書く」 「マイニュース記事を書こう」	42～45 46～47
4	6月21日・22日	「原稿用紙の使い方」 「実践トレーニング①」	239以降 26
5	6月28日・29日	「人生を見つめる」 「長所・短所を見つめる」 「面接にチャレンジ」 「効果的な自己PR」	94 95 110～111 96～97
6	7月12日・13日	「文のつながり方」 「実践トレーニング②」	24～25 116

◇テスト範囲

中間	レポート 1/6～3/6 詳細は『筑摩』にて連絡。	期末	レポート 4/6～6/6 詳細は『筑摩』にて連絡。
----	------------------------------	----	------------------------------

◇成績評価の方法

成績はテスト、レポート、面接出席状況等から総合的に評価する。

観点別評価の「知識・技能」は、主としてテストによる学習の定着度から評価する。よく学習しているものはA、合格の基準を超えたものはB、不合格の時はCとする。

「思考・判断・表現」は、6通のレポートの取り組みを総合して評価する。レポートの課題まで全てをしっかりと取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、不合格の時はCとする。

「主体的に学習に取り組む態度」はスクーリングの出席状況と学習態度を合わせて評価する。出席状況がよく積極的に学習に取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、合格基準を超えない時はCとする。

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
国語	国語表現②	後期2単位	6	6	3

◇科目の目標

国語で適切に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし言語感覚を磨き、進んで表現することによって社会生活を充実させる態度を育てる。

◇科目の概要

文の書き方の基本的なルールを学び、そこからエッセイ、小論文等、様々な文章を書くことにより、自己の思想を表現する。

◇学習の進め方

教科書を熟読し、レポートに取り組む。疑問点はスクーリング等を活用して、積極的に質問する。

◇履修にあたっての留意点

自分の言葉で、自分の文章をしっかりと丁寧に書くこと。

◇使用教科書・副教材 『国語表現』（大修館）・『カラー版 新国語便覧』（第一学習社）

◇スクーリング計画

回数	開 講 月 日	授 業 内 容	教科書ページ
1	10月19日・20日	「相手に応じた言葉遣い」	18～19
2	10月25日・26日	「敬語を使い分ける」 「修辞法の種類」	20～21 232～233
3	11月1日・2日	「わかりやすい文を書く」 「エッセイを書こう」	22～23 216～221
4	12月6日・7日	「小論文とは何か」 「執筆と推敲」	54～56 56～57
5	12月13日・14日	「クロスワードパズル」 「伝統的な日本の言葉遊び」 「実践トレーニング②」	188 190～191 117
6	12月27日・28日	「文章を読み取って書く」 「構成メモを書く」 「小論文を書く」	62～64 82～89 65

◇テスト範囲

中間	レポート 1/6～3/6 詳細は『筑摩』にて連絡。	期末	レポート 4/6～6/6 詳細は『筑摩』にて連絡。
----	------------------------------	----	------------------------------

◇成績評価の方法

成績はテスト、レポート、面接出席状況等から総合的に評価する。

観点別評価の「知識・技能」は、主としてテストによる学習の定着度から評価する。よく学習しているものはA、合格の基準を超えたものはB、不合格の時はCとする。

「思考・判断・表現」は、6通のレポートの取り組みを総合して評価する。レポートの課題まで全てをしっかりと取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、不合格の時はCとする。

「主体的に学習に取り組む態度」はスクーリングの出席状況と学習態度を合わせて評価する。出席状況がよく積極的に学習に取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、合格基準を超えない時はCとする。